

# 2022年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲 Percussion ワンポイント・アドバイス

吹部  
Navi

## I やまがたふあんたじい～吹奏楽のための～

作曲：杉浦 邦弘

冒頭のフルートソロのバックで鳴らすグロッケン、スレイベルは雰囲気大切にしながら演奏しましょう。グロッケンのマレット選び、スレイベルの音色、鳴らし方などを研究してみてください。46小節目からのシロフォンは3つの音の和音ですが、3本マレットで演奏するよりも4本持った方が、和音が取りやすくなる場合もあります。可能であれば35小節目から4本持っていた方が持ち替えなどに気を使わなくて済むので挑戦してみてください。49小節目のサスペンデッドシンバルはppからのクレッシェンドが効果的になるようにマレットを動かすスピードなどを研究してみましょう。

## II マーチ「ブルー・スプリング」

作曲：鈴木 雅史

マーチ全般に言えますが、グロッケンは管楽器と同じ動きをする場合が多いので、トリルやフレーズの作り方をしっかりと合わせるように意識しましょう。同様に、スネアドラムの裏打ちなどもホルンの音の長さ、和音の進行に合わせて音色や強弱をつけられると表情豊かになると思います。グロッケンは細かい動きが多い上にテンポも速いので、無理せず自然に弾けるスティッキングを見つけて演奏しましょう。

[J]からのスネアドラムのロールを少しアクセント気味に演奏すると輪郭がはっきりし、リズムも軽快になると思いますので挑戦してみてください。バスドラムとシンバルは2つで1つの楽器というような意識を持ち、音が混ざり合うように音色に気を付けましょう。

## III ジェネシス


作曲：鈴木 英史

打楽器パートの皆さんも、この曲の和声進行がどのようになっているかを把握してみましょう。作曲者もこの曲は「マーチではない」と明言していますので、打楽器の音も和音の一構成音として認識してみると良いと思います。15小節目からのスネアドラムのリズムは記譜されている譜割りをしっかり意識できるとよいでしょう。[B]のリムショットについては叩く場所、スティックの材質や形状などによっても異なるので、出したい音のイメージをしっかりと持って演奏しましょう。ウインドチャイムは曲の雰囲気に合わせて鳴らす場所を変えたり、方向（上行させるか下行させるか）を変えたりすると良いと思います。

## IV サーカスハットマーチ

作曲：奥本 伴在

曲全体を通してアクセントが多用してあります。アクセントの使われている意図をしっかりと考え、どのような音を出したいのかをしっかりとイメージしてから演奏するようにしましょう。[G]からのスネアドラムは3連符と8分音符の叩き分けを明確にできると良いと思います。

[E]のトライアングルは地味なようでとても大切になります。タイミングや音色に神経を集中させて良い音で演奏してください。作曲者のコメントにもありますが、この曲の肝となる  というリズムをきっちりと演奏できるように練習しましょう。

## V 憂いの記憶－吹奏楽の為の

作曲：前川 保

2, 3, 4番パートでタムタムを、3, 5番パートでテンブルブロックを共有します。曲の雰囲気を壊さないためのスムーズな移動ができるようにセッティングを工夫してみると良いと思います。この曲のティンパニでは音替えが非常に難しいので、音替えのプランをしっかりと立てて練習するとよいでしょう。シズルシンバルはホームセンターで売っているようなボールチェーン（お風呂場の栓で使われているようなもの）をシンバルに乗せることで代用が可能です。チェーンの太さとシンバルの厚さとの兼ね合いで音色も異なるので、何種類か組み合わせを試してみても一番効果的なものを選んでみてください。